

室内楽の午後

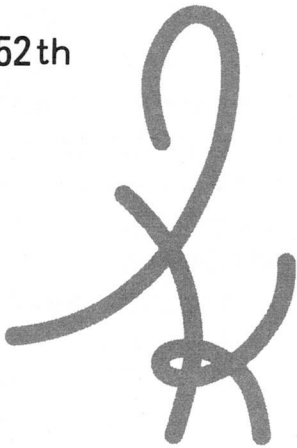
1996年

平成 8年 3月 20日 (祝)

午後 2時

市川市文化会館大ホール

252th



市川市教育委員会 市川交響楽団協会 共催

本日のプログラム

金管合奏

4つのファンファーレより ハ調のファンファーレ……………ピルス
(トランペット3、トロンボーン3、チューバ)

亜麻色髪の乙女……………ドビュッシー
グオリゴグのケーキウォーク……………ドビュッシー
(トランペット2、ホルン、トロンボーン、チューバ)

セレナーデニ短調 作品44……………ドヴォルザーク
Serenade in D-Moll Op.44 (1841-1904)

第1楽章 行進曲

第2楽章 ミニユエット

第3楽章 アンダンテ

第4楽章 フィナーレ

(オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、
コントラファゴット、ホルン3、チェロ、コントラバス)

— 休 憩 —

弦楽セレナーデ ホ短調 作品20……………エルガー
Serenade for String Orchestra in E-Minor Op.20 (1857-1934)

第1楽章 アレグロ・ピアチェボレー

第2楽章 ラルゲット

第3楽章 アレグレット

交響曲第5番 変ロ長調 D.485……………シューベルト
Symphony No.5 B-dur (1797-1828)

第1楽章 アレグロ

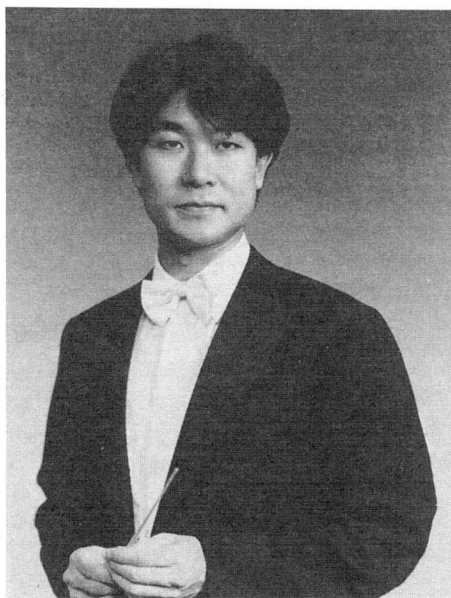
第2楽章 アンダンテ

第3楽章 メヌエット

第4楽章 アレグロ・ヴィヴァーチェ

指 揮・小 林 幸 人
管 弦 楽・市 川 交 響 楽 団

プロフィール



3024
指揮者：小林 幸人(こばやし・ゆきひと)

1958年千葉県生まれ。東京音楽大学を経て桐朋学園大学で指揮を学ぶ。指揮を紙谷一衛、ホルンを守山光三、宮田四郎の各氏に師事。また在学中、飯守泰次郎、尾高忠明、小澤征爾各氏のレッスンに参加し研鑽をつむ。内外著名指揮者のアシスタントを努め、1992年には東京オペラインスティテュート終了公演「ヘンゼルとグレーテル」を指揮した。またアマチュアの指導も多数行い、オーケストラ、吹奏楽、合唱、マンドリンなど十数団体の指揮者、トレーナーを努める。

市川市本八幡に在住。

市川交響楽団

今年、創立45年を迎え現在のメンバーは120余名、年令は20代から70代以上の大変広い層にわたり、職業も会社員、教師、主婦などそれぞれですが、市川市で開かれる演奏会を中心に全国各地で開催される文化行事や、オーケストラフェスティバル等にも出演し演奏を披露しています。著名な音楽家との共演も多数経験しているほか、地元市川市ゆかりの音楽家との共演を通じて、地域文化の振興に力をいれています。

金管アンサンブル

出演メンバー

トランペット (Trp.) : 安藤 宣明 新井本昌宏 一榎 泰一
トロンボーン (Trb.) : 藪崎 裕至 稲沢 妙絵 久保 昭
ホルン (Hr.) : 近藤 利昭
チューバ (Tuba) : 渡辺 鉄雄

セレナーデニ短調 作品44 ドヴォルザーク

ドヴォルザークは、2曲のセレナーデを作曲しています。1曲は1875年にかかれた弦楽セレナーデ(ホ長調)。もう1曲は今回演奏する1878年に書かれた管楽セレナーデ(ニ短調)。ドヴォルザークは1841年生まれですから、37歳の時の作曲ということとなります。楽器編成が変わっていて、オーボエ、クラリネット、ファゴット各2本とコントラファゴット、そして3本のホルン、それに弦楽器チェロとコントラバスが加わります。何といってもこの曲を印象付けるのは冒頭の行進曲風のメロディ。ドラエモんのどこでもドアのように、あっと言う間にドヴォルザークの世界に引き込んでいきます。舞曲風メロディあり、叙情的メロディあり、4つの楽章を移り変わっていきます。そして、終曲に冒頭の行進曲が。ちょっと田舎っぽいメロディですが、演奏会会場を出る時気がつくときずさんでいるかもしれません。

出演メンバー

オーボエ (Ob.) : 荒井 淳 山地 順子
クラリネット (Cla.) : 多田 準也 半藤 嗣人
ファゴット (Fg.) : 金坂 哲 吉儀富貴子
コントラファゴット (C. Fag.) : 菅原 斉
ホルン (Cor.) : 嶋村 恒夫 山本 恭子 藤井 茂司
コントラバス (C. B.) : 鈴木 重則

市川交響楽団演奏会のお知らせ 〈入場無料〉

平成8年市川市文化祭・第254回市響「交響楽の午後」

日 中 交 流 コ ン サ ー ト

平成8年 6月30日(日) 市川市文化会館大ホール
1996年

開場・午後1時30分 開演・午後2時

指揮 金子 建志 ヴァイオリン独奏 木佐貫 美保
管弦楽 市川交響楽団

〈現代中国音楽作品と邦人作品の初演〉

ホウ ソンエイ ボンボン
存慧 / 蹦蹦組曲 第2番 青木暢男 / 舞踊組曲「下田物語」より
高 スンカ
松華 / ヴァイオリン協奏曲 グリーグ・村上正治 編 / 「旅情組曲」

主催 市川市教育委員会 市川交響楽団協会 後援 千葉交響楽団協会
問合せ 0473-72-0258 (市川交響楽団・横田)

弦楽セレナーデ ホ短調作品20.....エルガー

作曲家の国籍と、その音楽との間には何らかの傾向があるのだろうか。人は“ドイツもの”とか“フランスもの”という言い方をよくしますが、本日とりあげたエルガーは“イギリスもの”というとりあげ方をよくされます。

彼はこの弦楽セレナーデの他に「エニグマ変奏曲」やチェロ協奏曲などを作曲しており、あたたかさや親しみといったものが感じられる作曲家といえます。

私はひるがえってそのあたたかさや親しみやすさを“イギリスもの”の共通点ではないかと思っています。

この弦楽セレナーデは、一八八九年に結婚したエルガーが結婚3周年を記念して愛妻アリスロバートにおくったといわれております。その点この曲も“イギリスもの”としての特徴を十分兼ね備えた曲といえましょう。

全体は3楽章形式になっており、弦楽5パートにより演奏されます。

出演メンバー

第1ヴァイオリン	竹内 甲	堂本 祐司	福原 祥子	横田佐貴絵
第2ヴァイオリン	石本 恵理	亀井 玲子	鈴木 淳子	堤 哲児
ヴィオラ	竹内ひとみ	渡部 玲子		
チェロ	根岸 朋子	福原 耕二		
コントラバス	菊池 克彦			

交響曲第5番 変ロ長調.....シューベルト

シューベルトの生まれ育った十九世紀初頭のウィーンという街は文化的に言えば、ヨーロッパ文明の中心地であり、音楽的に言えば音楽界の首都といっても過言ではありません。

当時のウィーンでは、ハイドン、モーツァルトを追うように、鮮烈なデビューをかざったベートーベンが、次々に新作を発表していました。

そんな中シューベルトは、幼少のころ、小さな仲間うちで認められたにすぎませんでした。最初の作品が1821年に初めて発表されたときには、彼自身すでに6つの交響曲の作曲を終えていました。

本日演奏する交響曲第5番は1816年に作曲されたものです。楽器構成は、クラリネット、トランペット、ティンパニーがなく、フルート1、オーボエ2、バスーン2、ホルン2に弦楽5セクションとなっています。

この交響曲に“チャーミング”という形容詞をつける人がいるそうです。

ちなみに筆者は3楽章のせまりくる4分音符の連続が好きです。

出演メンバー

第1ヴァイオリン	石本 恵理	亀井 玲子	鈴木 薫	鈴木 淳子	堂本 祐司
	永田 匡	二宮 伸雄	福原 祥子	横田富美子	
第2ヴァイオリン	須永 恒雄	竹内 甲	堤 哲児	寺村 真紀	根守 弘和
	久田しげ子	平野 弘子	深沢 武夫	村田 康代	横田佐貴絵
ヴィオラ	岩本 泰	内田 綾美	斎藤十一郎	竹内ひとみ	中渡 孝
	奈良林弘子	星 乗昭	水野 桃子	村上 賢一	若林 繁
チェロ	池田 寛之	沢田 恵子	田頭 扶	中村 公一	南明由美子
	樋口 進	福原 耕二	横田 朝之		
コントラバス	菊池 克彦	鈴木 重則	李 隆子	八鍬 健	
フルート	木村 純一				
オーボエ	荒井 淳	山地 順子			
ファゴット	菅原 齊	吉儀富貴子			
ホルン	越塚 康央	近藤 利昭			

市川交響楽団協会

当協会は昭和26年7月に発会以来43年の歩み続け、千葉県内に健全な純音楽の普及と啓蒙をはかり、クラシック音楽の愛好者層を増し、平和な潤いのある生活がみちあふれる事を願う文化団体です。然も音楽の中で最も強力に共鳴感を起させるシンフォニックな楽団の育成と、その演奏活動の実践を容易ならしめるための社会教育団体でありまして、利益を得る団体でも、ただ自分中心の、趣味だけを満足させるクラブでもありません。自分達の喜びを少しでも多くの人に分け与えようとする奉仕団体として、同じ趣旨の千葉交響楽団協会の中心的存在であります。又、当協会は、市川交響楽団、市川混声合唱団、市川交響吹奏楽団、市川ジュニアオーケストラ、行徳混声合唱団の5団体によって組織されております。市川交響楽団は昭和55年度のサントリー地域文化賞をサントリー文化財団より受賞、協会は昭和58年11月に文部大臣地域文化功労賞も受賞しました。

名誉会長	沼田 武				
理事長	村上 正治				
理事	飯島 延浩	中村 好成	井関 裕義		
	岸本 英雄	古賀 正一	高橋 國雄		
	丹沢 章治	村岡 実	平田 博永		
	三木 晴雄	茂木友三郎			
	横田 行雄	村上 信乃			
監事	最首 輝夫	山崎 文彦			
評議員	飯島 茂彰	光岡 知足	安田 敬一		
	本多 安仁		他23名		
顧問	出光 昭介	白井日出男	奥山 浩		
	佐々木信次	岩瀬 良三			
	山本 孝也	山口 重直	他23名		
参与	伊藤 一郎	伊藤 節	他110名		
事務局長	星 乗昭				

【市響賛助会員】

赤松 憲樹	飯田 修二	岸本 英雄	田中 洋	浜田 薫	宮地 徹	雄一
東千 恵	院去 雅久	野原 英ヨ	中口 衛	部寿 太	野上 和	一和
阿由 葉行雄	内田 一孝	草栗 定正	谷中 賢	羽賀 有年	村上 実	治也
蚊野 良一	畝本 昌介	古賀 野克	竹中 靖	福井 通祐	村上 正	孝秀
石井 健太郎	浮谷 悦光	金野 明子	泰道 三	樋口 真枝	山本 孝	秀重
今井 正	榎方 太郎	近藤 藤一	泰道 直	福富 春雄	山崎 文	彦直
出光 昭介	岡本 英二	寒川 芳興	高橋 國吉	古川 多安	山崎 文	彦直
出野 弥生	岡本 利邦	佐々木 信次	高丹 高	本星 井多	山崎 文	彦直
岩瀬 良三	岡田 幸三	佐々木 義三	高津 田	細本 松野	山崎 文	彦直
伊藤 一節	小沢 守利	佐々木 真誠	塚本 山	松野 景マ	山崎 文	彦直
伊藤 賢二	大石 秀子	桜井 正廣	外山 壽	松山 岡	山崎 文	彦直
岩淵 勇三	川崎 佳夫	坂島 新	田頭 一	松原 敏	山崎 文	彦直
飯島 延浩	川畑 達	新城 瑠璃	道屋 時	松前 三	山崎 文	彦直
飯島 庸江	川加 嘉	島根 水	中野 野	三三 三	山崎 文	彦直
飯島 茂彰	加金 狩	島清 杉	西沼 野	光	山崎 文	彦直
井関 裕義	加藤 野	田中	野島 中		山崎 文	彦直
稲葉 純	片岡 直				山崎 文	彦直
岩上 信也					山崎 文	彦直
飯島 令治					山崎 文	彦直

平成7年度市川交響楽団協会活動記録

平成7年	4.11	三井海上文化財団助成金贈呈式	三井海上本社
	4.22	市響・国際親善コンサート「ベルリン市民弦楽合奏団演奏会」	市川市民会館
	5.5	第246回市響「20周年記念・市響ジュニアオーケストラ演奏会」 ショスタコーピチ 交響曲第5番 ほか 指揮 山崎 滋	市川市文化会館
	5.13	交通安全コンサート 出演	市川市民会館
	5.13	アンサンブルコンサート	市川市文化会館
	5.20	音楽ギャラリー(オペラ)	市川公民館
	6.17	音楽ギャラリー(市吹アンサンブル)	市川公民館
	6.18	県民の日記念「交響楽コンサート」参加	市原市文化会館
	6.18	千葉県合唱祭 出演	市川市文化会館
	6.24,25	市混、行混 合同合宿	千葉県青少年婦人会館
	7.2	市川市平和コンサート	市川市民会館
	7.9	第247回市響「交響楽の午後」 ワグナー「神々のたそがれ」より 指揮 田久保 裕一 マーラー 交響曲第4番 ソプラノ 近藤 千加枝	市川市文化会館
	7.15	音楽ギャラリー(オペラ)	市川公民館
	7.29,30	オーケストラ合宿	佐倉市湖畔荘
	8.4-6	全国オーケストラフェスティバル福岡大会 参加	アクロス福岡
	8.11-14	吹奏楽合宿	河口湖
	8.11-14	市響ジュニア合宿	
	8.27	第248回市響「35周年記念市川交響吹奏楽団納涼コンサート」	市川市文化会館
	9.16	音楽ギャラリー(オーケストラ)	市川公民館
	9.24	第12回全国都市緑化フェア・コンサート出演	稲毛海浜公園
	10.1	第249回市響「合唱の集い」 パレストリーナ「教皇マルチェリスのミサ」 ほか 指揮 村上 正治 合唱 市川混声合唱団 行徳混声合唱団	市川市文化会館
	10.14	音楽ギャラリー(市川交響楽団有志)	市川公民館
	10.28,29	第10回国民文化祭とちぎ「オーケストラの祭典」 参加	宇都宮市文化会館
	10.29	小学生へのコンサート	大町小学校
	11.12	千葉県芸術フェスティバル音楽祭	市川市民会館
	12.17	第250回市響「250回記念合同コンサート」 市川交響楽団協会所属団体による合同演奏 指揮 山崎 滋 ブラームス 交響曲第3番、合唱曲「ネニエ」、レスピーギ 交響詩「ローマの松」	市川市文化会館
	12.24	クリスマス・コンサート	市川公民館
平成8年	2.18	市川市文化会館10周年記念「市川・第9」演奏会 ベートーヴェン 交響曲第9番 ほか 指揮 山下 一 史	市川市文化会館
	3.2	市川市合唱祭参加	市川市文化会館
	3.3	市川市文化集会 参加	市川市文化会館
	3.3	第251回「市川交響吹奏楽団コンサート」	市川市文化会館
	3.9	音楽ギャラリー(市川混声合唱団)	市川公民館
	3.20	第252回「室内楽の午後」	市川市文化会館
	3.24	リバーサイド・オーケストラフェスティバル出演	葛飾シンフォニーヒルズ